# 令和2年度

# 事業報告書

自 令和 2年4月 1日

至 令和 3年3月31日



## 公益1

## I. 青少年活動

新型コロナウィルスの影響によりキャンプ事業が中止となったが、コロナ禍の中でできることを模索し、桧原湖畔子ども自然体験キャンプオンライン同窓会と Go To SYD キャンプを行った。

## 1. 子ども自然体験活動

※新型コロナウィルスの影響によりア~ウが中止、それに伴いエ~キも中止

### (1) 夏期子ども自然体験キャンプ

ア.子どもゆめ基金助成活動「子ども自然体験キャンプ」《文部科学省後援》

期 間 8月 <各3泊4日>

開催数 5会場(道南ふれあい、桧原湖畔、瀬戸内海、鹿児島、沖縄)

#### イ. 伊勢青少年研修センター主催「子ども自然体験キャンプ」

期 間 8月 <各3泊4日>

開催数 2会場(愛知、関西)

### ウ. 連合会等組織共催「子ども自然体験キャンプ」

期 間 8月 <各3泊4日>

開催数 3会場(いばらき、友愛、北部九州)

### エ. キャンプ主事・事務担当者

- オ.子ども自然体験等キャンプ事前調査
- カ. 共催キャプへの講師・スタッフ等派遣

#### キ. 印刷物の作成・配布

- ①子ども自然体験キャンプリーフレット
- ②子ども自然体験キャンプ報告書

#### ク. 桧原湖畔子ども自然体験キャンプオンライン同窓会

期 日 8月30日(日)

時 間 14:00~15:20

場 所 オンライン開催 (Zoom)

スタッフ 谷野渉

実行委員 5名(有志リーダー)

参加者 16名(昨年度キャンプ参加者・リーダー・スタッフ)

#### ケ. Go To SYDキャンプ

新型コロナウイルス感染症拡大により今年度はキャンプが開催できなかったため、昨年度の参加者・リーダーに昨年のキャンプのスライドショーとリーダーからのメッセージ動画を閲覧できるSYDからのメッセージ及び公式ラインの案内はがきを送付した。はがきを送付した数は以下の通り。

会	場	キャンパー	リーダー	計
道	南	28名	8名	36名

桧 原	99名	19名	118名
いばらき	76名	24名	100名
愛 知	6 7名	3 2名	9 9 名
関 西	7 2 名	2 3 名	9 5 名
瀬戸内海	81名	3 4 名	115名
鹿児島	66名	11名	77名
沖 縄	5 9 名	9名	6 8 名
合 計	548名	160名	708名

## (2)子どもわくわく自然体験キャンプ(招待)《子どもゆめ基金助成活動/文部科学省後援》

開催日 8月12日(水)~14日(金) < 2泊3日>

開催地 ばんだいふれあいぴあ

※新型コロナウイルスの影響により中止

### (3) 冬期子ども自然体験キャンプ

### ア. 子ども自然体験スキーキャンプ

※第1回、第2回とも新型コロナウイルスの影響により中止

#### 《第1回》

開催日 12月26日(土)~30日(水) <4泊5日> 開催地 福島県(ばんだいふれあいぴあ及び箕輪スキー場)

## 《第2回》

開催日 3月26日(金)~30日(火) <4泊5日> 開催地 福島県(ばんだいふれあいぴあ及び箕輪スキー場)

## (4) **子どもWA KU × 2 ひろば**《子どもゆめ基金助成活動》

自然体験活動や社会奉仕体験活動を実践している高校生・大学生等の青年指導者が集い、専門家や実践者を講師に招き、さまざまな体験活動やその展開方法についての学習をするとともに、新たな視点に立って展開する週末体験活動を模索し実践活動をおこなった。

## ア. WAKU×2ボランティアリーダー研修会

※全国18会場での開催を予定していたが新型コロナウイルスの影響により中止

## イ.子どもWAKU×2ひろば

	1. 1 0 0 11 111	O 7 1 0 7 10					
No.	協力団体	実 施 日	会場名	講師	参加者等		
1	SYD伊勢 (伊勢)	12月19日(土)	伊勢青少年研修センター	山﨑 政弘	青年指導者5名リーダー10名参加者18名		
2	SYD伊勢 (伊勢)	12月20日(日)	伊勢青少年 研修センター	※新型コロナウイルスの影響により中止			
7	也に全国12会場での こが、新型コロナウク 中止	)開催を予定してい イルスの影響により	合 計	1名	青年指導者5名リーダー10名参加者18名		

#### (5) 東京キラリン・ウォーク《子どもゆめ基金助成活動/文部科学省後援》

※新型コロナウイルスの影響により中止

### (6) 夏期少年少女合宿講習会(各地青年会議所等共催)会場:伊勢青少年研修センター

期日	共催団体名・事業名	
7月21日(火) ~ 23日	1(木) 寺子屋伊勢合宿	
7月27日(月) ~ 29日	一般社団法人伊勢青年会議所 「第 49 回伊勢少年少女合宿講習会」	※新型コロナウィルス
7月31日(金) ~8月2日	一般社団法人岸和田青年会議所 「第30回岸和田少年少女サマース クール」	の影響により中止
8月24日(月) ~ 26日	日(水) 橿原ジュニアサマースクール	

## (7) 第22回40kmナイトウォーク親子の集い

開催日 9月12日(土)~13日(日)〈2日〉 対 象 小学3年生以上の子どもと大人 ※新型コロナウイルスの影響により中止

## 2. 子どもボランティア推進活動

(1) 第6回SYDきらめきメッセージ全国コンクール《文部科学省後援》

開催日 令和3年2月13日(土) 12時40分~14時30分

会場 SYDホール

※新型コロナウイルスの影響により募集の段階で中止を決定した。

#### (2)幸せの種まきキャンペーン《文部科学省後援》

学校(生徒会・ボランティア部)、地域、PTA等と連携を図り、これまで実践しているフィリピン等での支援活動を紹介した。ストリートチルドレンやスカベンジャーなど「貧困と共に生きる子どもたち」の現状を理解することにより、ボランティア精神を涵養し、他者への思いやり、命の大切さ、親や周りの人へ感謝など、青少年の豊かな心を育むことを目的に開催した。また、コロナ対策として密を避けるため、学校によって学年毎に分ける等分散して開催された。

#### ア. 幸せの種まきキャンペーン「出前講座」

〈別表-1〉

開催数 16会場

\*他に4件の申し込みがあったが、新型コロナウィルスの影響によりキャンセルとなった。

派遣講師 各会場に2名(山口千恵子、谷野渉、増田航介)

体験発表者 1会場(鈴木綾)

参 加 者 2,210名

#### イ. パンフレットの作成・配布

部 数 5,000部

体 裁 A4版8頁、4色刷

配 布 先 10,000ヶ所

(3)被災地訪問青少年ふれあいボランティア《文部科学省後援/子どもゆめ基金助成活動》

期 間 5月~令和3年1月 <各2泊3日>

活動場所 宮城県内の復興住宅

※5回の開催を予定していたが、新型コロナウイルスの影響により中止

## (4) 青年ボランティアゼミナール《子どもゆめ基金助成活動》

〈別表-2〉

当初はSYD会議室にて開催を予定していたが、コロナ対策としてオンライン開催に変えて開催した。これにより、海外留学中や遠隔地のリーダーも参加が可能となり、広がりが出た。

期 間 9月~令和3年3月 <各回とも19:30~21:00>

開催数 8回(11/21は通算100回なので特別開催)

会 場 オンライン開催 (Zoom)

講 師 8名

出席者 289名

## 3. SYD指導者の養成

(1)全国青年ボランティア・アクション in 福島《文部科学省後援/子どもゆめ基金助成活動》

開催日 令和3年3月31日(水)~4月5日(月) <5泊6日>

会場 ばんだいふれあいぴあ、喜多方市、会津若松市、被災地復興住宅ほか ※新型コロナウイルスの影響により中止

(2)全国青年ボランティア・フォーラム《文部科学省後援/子どもゆめ基金助成活動》

開催日 11月21日(土)~23日(月・祝) < 2泊3日>

会 場 国立信州高遠青少年自然の家

※新型コロナウイルスの影響により中止

(3) 全国青年ボランティア·フェスティバル《文部科学省後援/子どもゆめ基金助成活動》

開催日 令和3年2月13日(土)~14日(日) < 1泊2日>

会場 SYDホール及び国立オリンピック記念青少年総合センター

※新型コロナウイルスの影響により中止

### (4) SYD指導者資格認定制度

※新型コロナウィルスの影響によりほとんどの事業が行えなかった為、制度の運用が 図れなかった。

### 4. 青年組織育成活動

※新型コロ新型コロナウィルスの影響により、例年ばんだいふれあいぴあで開催しているキャンプ担当者会議をオンライン開催とした。

### (1) 青少年活動(キャンプ)担当者オンライン会議

新型コロナウイルスの影響によりオンライン会議に変更し開催した。

期 日 第1回 4月25日(土)13時~14時

第2回 5月16日(土) 20時~21時

第3回 9月 6日(日)20時~21時

会 場 オンライン開催 (Zoom)

スタッフ 市島寿里、板倉和也、谷野渉、増田航介

参加者 各回6名(各地キャンプ担当者)

### (2) 関係機関・団体との協力(会議出席等)

〈別表一3〉

青少年の健全育成ならびに社会教育に寄与する活動の充実を図り、青少年教育及び 社会教育の関係機関・諸団体との協力・連携を図ることを目的に、会議出席するなど の活動を行った。

## Ⅱ. 国際交流活動

1. 貧困と共に生きる子どもたちの支援活動(サポーティングプログラム)

※新型コロナウイルスの影響により(1)中止、それに伴い(2)、(3)も中止

(1) 交流 2 0 周年記念事業/青年ボランティア・アクションinフィリピン 《文部科学省後援》

期 日 8月18日(火)~24日(月) < 6泊7日> 訪 問 地 フィリピン(マニラ市、ケソン市、他)

- (2)「青年ボランティア・アクションinフィリピン」報告書の作成・配布
- (3)「青年ボランティア・アクションinフィリピン」支援バックの作成作業

## 2. ブラジルとの指導者交流事業

※新型コロナウイルスの影響により(1)、(2)中止

(1) ブラジル指導者の招聘

ア. ブラジル青年リーダーの招聘

期 日 8月上旬~9月上旬 <28日間>

主な日程 本部研修、伊勢研修、ばんだいふれあいぴあ研修、都内視察ほか

イ. ブラジル修養団講師の招聘

期 日 令和3年2月上旬~下旬 <21日間>

主な日程 本部研修、伊勢研修、ばんだいふれあいびあ研修、都内視察ほか

(2) ブラジルへの指導者派遣

期 日 令和3年1月上旬~2月中旬 <約35日間>

派 遣 先 ブラジル (サンパウロ、モジ、スザノ、マリンガ他)

主な活動 少年少女講習会、リーダー研修会、講演会等

## 公益2

## Ⅲ. 講習会・講演活動

- 1. 伊勢講習会 会場: 伊勢青少年研修センター
- (1) みがく講習会(定例講習会)

〈別表-4〉

開催数 9回 <各3泊4日>

対象企業の新入社員・中堅社員・幹部社員他

※新型コロナウイルスの影響により中止

### (2) みがく特別講習会

開催数 3回 <各1泊2日>

参加者 75名(平均25名、定員各80名)

※新型コロナウイルスの影響により第1、4回は中止

#### (3)特別講習会

※新型コロナウイルスの影響によりア、イともに中止

#### ア. 神嘗祭講習会

期 日 A:初穂曳コース:10月15日(木)~17日(土)<2泊3日>

B:神嘗祭コース:10月16日(金)~17日(土)<1泊2日>

## イ. 初詣新春の集い

期 日 令和3年1月9日(土)~10日(日)<1泊2日>

(4)受託講習会 **〈別表-5〉** 

開催数 5回

参加者 276名

開催数 9回

参加者 301名

## (6)講師派遣(講演・講習活動)

〈別表-7〉

開催数 32回

参加者 1,940名

## 2. 関東・東北地区等講習会

※新型コロナウイルスの影響により(1)(2)ともに中止

#### (1)新入社員セミナー

期 日 4月13日(月)~15日(水) < 2泊3日>

会 場 猪苗代観光ホテル(福島県)

#### (2) リフレッシュセミナー

期 日 令和3年2月3日(水)~5日(金) <2泊3日>

会場 レイクサイドホテルみなとや(福島県)

## 3. 受託セミナー

〈別表-8〉

#### (1) パート社員セミナー

ア. 1日コース

開催数 4回(他3回中止)

参加者 288名

#### (2) 新入社員セミナー

ア. 1日コース

※3回開催予定だったが、新型コロナウイルスの影響により中止

イ. 1泊2日コース

※3回開催予定だったが、新型コロナウイルスの影響により中止

### ウ. 2泊3日コース

開催数 1回(他2回中止) 参加者 25名

## (3)一般社員セミナー等

ア. 1日コース 開催数 1回 参加者 41名

## (4)講演会

開催数 1回 参加者 30名

## 4. 企業・組織訪問

講演会・講習会の参加者募集や実施及び団運動の拡大を目的として企業及び組織を訪問した。

期日	訪問地域	訪問 社数	訪問者
10月26日(月) ~27日(火)	茨城県下(ひたちなか市、日立市)	5 社	根岸·武田·志村
11月18日(水) ~19日(木)	北陸地区(福井県、富山県、石川県)	4社	保坂·志村
11月25日(水) ~27日(金)	福島県下(郡山市、本宮市、田村市、白河市)	12社	武田·志村
合 計	3回	21社	

## 【集計表】連合会・クラブ、企業・団体等「主催講習会・講演会」 〈別表-9〉

#### (1)講習会

開催数 21回 参加者 1,021名

## (2)講演会

開催数 28回 参加者 1,667名

## IV. 家庭教育活動

## 1. 家庭《共育》セミナー

親や大人が子どもと共に育ち、家庭・学校・地域等が子どもたちを「共に育てる」中で、幸せな家庭、生き生きとした地域社会の実現に向け、親子や家族のあり方、高齢社会での世代間交流など、身近な課題に取り組むセミナーを計画した。

しかし、新型コロナウイルスの影響により従前の「会場参加型」の形態で実施することが出来ず、インターネットを利用した会議システムを活用し、「Zoomでオンライン家庭《共育》講演会」として実施した。

### (1)会場参加型「家庭《共育》セミナー」

1月17日 修養団香川県連合会 ※新型コロナウイルスの影響により中止

## (2)「Zoomでオンライン家庭《共育》講演会」

開催日	講師	演題	参加者数
11月 7日(土)	高牧 康 (NPO東京ベルズ理事長)	おんいく 「 <b>音育」</b> ~「マザーリーズ」を利用した読み聞かせ方法~	44名
12月13日(日)	はやし みぁき 林 御暁 (笑いヨガリーダー)	「笑いヨガ」 〜 『笑う門』には『元気』 来たる!〜	3 4名
1月30日(土)	かもん いょ 掃部 依代 (インターナショナルスクール勤務)	はじめての『英語あそび』	46名
3月13日(土)	<sup>むねとう</sup> 宗藤 純子 (子育てアドバイザー)	家族で聞く「いのちのおはなし」 ~ぉとなも子どもも、たいせつなあなた~	6 1 名
	4回		185名

## V. 会員・組織活動

## 1. 「幸せの種まき運動」の推進

会員及び会員組織と連携を図るとともに、諸団体にも呼びかけ、「愛と汗」を基本に下記事業を展開し、心ひとつにして「幸せの種まき運動」の推進を図った。

### (1)「Zoomでオンライン愛汗実践塾」

「愛と汗」を基本とした修養団の理念を学び、「幸せの種まき」を実践するための意識を高める機会として、連合会・クラブを実施団体とし研修会形式を用いて計画したが、新型コロナウイルスの影響により、従来の形態での実施を断念した。

なお、今年度は修養団創立者・蓮沼門三初代主幹の没後40年を迎え、創立の原点に立ち帰る契機とすべく、山崎一紀主幹による講演を「Zoomでオンライン愛汗実践塾」として実施した。

開催日	講師	演題	参加者数	
11月29日(日)	山﨑 一紀 (公財)修養団主幹	蓮沼門三の願い	26名	
1回				

## (2)「幸せの種まき祭り」-ストリートチルドレン・災害被災者支援-

本年度は、新型コロナウイルス感染予防の対策を取りながら「チャリティーバザー」の み実施した。全国の連合会・クラブ・企業等から提供された特産品や衣類のほか、埼玉県 の会員の方々が栽培した新鮮な野菜を販売した。

期 日 11月14日(土) 12時~14時

会場 SYDビル玄関前広場、駐車場、エントランスホール

参加者 200名 (近隣住民および会員など)

※収益金266,767円を「幸せの種まき献金」へ繰り入れた

### (3) 第4回「東京ベルズ」ハッピーヴォイスチャリティーコンサート

#### ーストリートチルドレン支援ー

NPO法人「東京ベルズ」のメンバーによるチャリティーコンサートを実施。当初10月17日に開催を予定していたが、新型コロナウィルスの蔓延に伴い開催日を変更し、飛沫防止のため歌唱を減らし、器楽演奏とダンスパフォーマンスを多く取り入れるとともに、会場の収容人数の制限、開演時間の短縮など、コロナ感染予防の対策を講じて開催した。

また、SYDが行っているフィリピンでの支援活動を、映像を交えて報告した。

今回会場へ来ることへの不安を感じている方に、「心の参加者」として広く募金のご協力を呼びかけたところ、35名から125,000円の献金が寄せられた。

後日、ご寄付をいただいた方に対して、当日の全プログラム動画を配信した。

期 日 12月5日(土) 14時~15時

会場 SYDホール

来場者 44名

出演者 高牧康、御幸りか、花岡るみ、古谷万理子、白瀬惠、松本久志、古葉映、 ラジアン円

(伴奏・アンサンブル) 江尻弘子、石川武、鵜飼ひろみ

※収益金521,992円を「幸せの種まき献金」へ繰り入れた。

### (4) 第12回「チャリティー演芸会」師走は笑って!の巻 ストリートチルドレン支援ー

当初6月19日に開催を予定していたが、新型コロナウィルスの蔓延に伴い、開催日を変更し、コロナ感染予防の対策を講じて実施。また、会場への参加を見送った4名の方から「心の参加者」として、25,000円の献金が寄せられた。

期 日 12月18日(金) 18時30分~20時30分

会場 SYDホール

出演者 宝井琴鶴、立川らく次、春風亭ぴっかり☆、立川らく人

来場者 37名

係 員 8名(ボランティア・職員)

※収益金122,563円を「幸せの種まき献金」へ繰り入れた。

### 2. 会員組織活動への支援など

(1) 第9回「全国修養団運動推進会議」

※当初6月8日に開催予定だったが、新型コロナウイルス蔓延のため、開催を延期したが、最終的に参加者の感染リスクを考慮し、中止を決定した。

期 日 10月3日(土) 13時~17時30分

会場 SYDホール

#### (2)講師・役職員の派遣

※新型コロナウイルスの影響で中止

・2/23「天皇誕生日奉祝~皇居参賀の集い」

主催:皇居参賀の集い実行委員会

・2/26「第34回沖縄戦遺骨収集ボランティア」

~3/2 主催:修養団沖縄がじまる会、SYDボランティア友の会

・以下、新型コロナウイルスにより変更(中止・延期など)された連合会・クラブ総会 修養団福島県連合会(書面総会)

修養団愛汗喜多方 (講師派遣中止)

修養団山都愛汗の会(書面総会)

修養団愛汗郡山(書面総会)

SYDボランティア友の会(中止)

修養団神奈川県連合会(書面総会)

修養団日立システムズ五十鈴会(中止)

修養団広島県連合会(書面総会)

修養団鹿児島県連合会(中止)

## (3) 喜多方市教育委員会「人づくりの指針講師派遣事業」等への支援

1月11日(祝・月) 「第59回慶徳町新春の集い」(喜多方市慶徳ふれあい館) ※新型コロナウイルスの影響で中止

### (4)「修養団創立115周年の集い」

5年毎の節目であることから修養団主催で計画を進めたが、新型コロナウイルスの感染拡大に歯止めがかからない状況と合わせ、政府による緊急事態宣言の解除から日が浅いことに鑑み、参加者の感染リスクを考慮した結果、式典の中止を決定した。

## (5)活動助成金の支出

クラブ・連合会の活動の拡充と活性化を図ることを目的とし、修養団のクラブ・連合会がおこなう活動に助成金各3万円を交付した。

- ①SYDいばらき「ユースリーダーズキャンプ」
  - (9月5日~6日開催・参加者12名)
- ②修養団伊勢いなほの会「真珠で遊ぼう」

(11月15日開催の同会総会後の学習活動・参加者17名)

## (6)諸団体との連携

- 6/26 千修会「令和2年度第1回実行委員会」
  - 7名 (東京都渋谷区・SYD会議室)
- 7/17 社会教育団体振興協議会「総会」書面開催
- 8/6 体験の風を起こそう運動「企画推進チーム会議」書面開催

## 3. 会員状況と会員組織

諸事業において会員申込案内パンフレットを配布した。また、「日々の力」や図書を発送する際に見本誌を同封するなど、会員拡大を図るとともに、クラブ・連合会を通じて加入促進をお願いした。新型コロナウイルスの影響により、夏期子ども自然体験キャンプが中止となったため、ふれあい会員等が大幅な減となったが、講習会受講者からも会員継続の申し込みをいただくなど、明るい傾向も見られた。

#### 

会員種別	当年度(R3.3.31現在)	前年度(R2.3.31現在)	増減
ふれあい会員	2 0	4 5 5	△435
愛 会 員	2 8 2	4 7 9	△197
向上会員	7 8 6	1,326	△540
永生会員	10,728	10,728	0
合 計	11,816	12,988	$\triangle$ 1, 172

## (2)後援会会員の現状

会員種別	当年度(R3.3.31現在)	前年度(R2.3.31現在)	増減
法人会員	9 7	9 7	0
個人会員	1 3 5	1 3 5	0
合 計	2 3 2	2 3 2	0

## VI. 幸せの種まき献金活動

## 1. 募金活動

会員組織、会員及び「幸せの種まきキャンペーン《出前講座》」実施校などを通じて募金活動をおこなった。引き続いて九州地方で発生した7月の豪雨災害と合わせて、新型コロナウイルスによる都市封鎖の影響で、経済や健康状態が悪化するフィリピンの子どもたちへの支援を呼びかけた。 (単位:円)

			2年4月	5月	6月	7月	8月	9月
月計金額		月計金額	93,659	99,772	90,713	274,701	124,728	1,282,149
	(	《一般献金》	61,659	85,772	46,713	61,721	18,388	648,949
	《指定献金》		32,000	14,000	44,000	212,980	106,340	633,200
	フィリピン	子ども学資支援	0	0	0	72,000	18,000	198,000
指定		大学生学資支援	18,000	0	0	20,980	14,340	330,200
指定献金内訳		学校支援	14,000	14,000	44,000	14,000	24,000	44,000
訳	コロ	和2年7月豪雨& コナ禍のフィリピンの どもたちへ	0	0	0	106,000	50,000	61,000

			10 月	11月	12月	3年1月	2月	3 月
		月計金額	324,728	547,312	1,067,458	134,423	189,349	84,358
	<b>«</b>	《一般献金》 《指定献金》	34,728 290,000	401,712 145,600	766,006 301,452	78,923 55,500	147,349 42,000	70,358 14,000
	フィリピン	子ども学資支援	108,000	108,000	127,123	18,000	18,000	0
指定		大学生学資支援	126,000	3,600	46,500	0	0	0
指定献金内訳		学校支援	54,000	34,000	127,829	37,500	24,000	14,000
内訳	令和2年7月豪雨& コロナ禍のフィリピンの 子どもたちへ		2,000	0	0	0	0	0

	•	_ 0, _ 3							
			今年度合計			前年度合計			
年間合計金額			4,313	,350	(219	件)	5,	631,588	(258件)
《一般献金》			2,422	,278	(114	1件)			
《指定献金》		《指定献金》	1,891	,072	(105	5件)			
	フ	子ども学資支援	667	,123	(3!	5 件)			
指	イリピン	大学生学資支援	559	,620	(1	7件)			
指定献金内訳		学校支援	445	,329	(3	3 件)			
<b></b>	그	和 2 年 7 月豪雨& コナ禍のフィリピンの どもたちへ	219	,000	(20	)件)			

※心の参加者(一般献金)…東京ベルズコンサート 125,000 円 (31 件)…チャリティー演芸会 25,000 円 (4 件)

## 2. 支援活動

海外のストリートチルドレン支援として、フィリピンの子ども45名と大学生5名の 学資支援及び子供たちが学ぶ学校への支援をした。また、7月の豪雨災害で特に被害の 大きかった地域への支援をおこなった。さらに新型コロナウィルスによる都市封鎖の影響で、健康状態が悪化しているフィリピンのゴミ山の子どもたちへ給食支援等を行った。

### 〈災害被災者支援〉

(※=全て指定献金/\*\*=一部指定献金)

・熊本県芦北町: 令和2年7月豪雨災害義援金 100,000 円\*\*

・熊本県球磨村: 令和2年7月豪雨災害義援金100,000 円\*\*

## 〈ストリートチルドレン支援〉

・フィリピン: ストリートチルドレン(給食支援) 560,000 円\*\*

・フィリピン: 子ども(幼稚園~高校生)学資支援(スカベンジャー・45名) 810,000 円※

・フィリピン: 大学生学資支援(スカベンジャー・5名) 900,000円\*\*

・フィリピン: スカベンジャーの 子どもたちへのクリスマスプレゼント (チョコレート) 5,500 円\*\*

### 〈福祉施設・団体支援〉

• 福 島 県: 介護老人福祉施設「北原荘」 30,000 円

・福 島 県: 介護老人保健施設「天心ケアハイツ」 30.000 円

・福 島 県: 山都デイサービスセンター「しゃくなげホーム」 30,000円

合 計 4,005,500 円

前年度合計 4,384,141 円

## 3. 幸せの種まき献金委員会

## (1)幸せの種まき献金委員会の開催

以下のように定期的に開催し、活動の充実・推進について協議した。

令和2年:6/1、7/7、8/3、9/1、10/9、11/4、12/11

令和3年:1/8、2/9、3/8

#### (2)報告書の作成・配布

令和元年度活動報告書(1,000)を発行し、クラブ・連合会、募金してくださった方々などに送付した。

## 公益3

## VII. 出版·広報活動

## 1. 機関誌「向上」「愛」の発行

## (1)「向上」

号	発行部数	随想テーマ
4月号	2,600	幸せの形
5月号	2,500	寄りそう
6月号	2,300	夢中になる
7月号	2,300	応援する
8月号	2,300	共に育つ
9月号	2,300	乗り越える力
10月号	2,300	受け入れる
11月号	2,200	大切な言葉
1 2月号	2,100	身近な喜び
1月号	2,300	原動力
2月号	2,200	遊びごころ
3月号	2,100	分かち合う
合 計	27,500 部	(前年度30,100部)

### (2)「愛」

号	発行部数	備考
4月号	1,000	
5月号	1,000	
6月号	1,000	
7月号	1,400	「ふれあい特集号」447部含む
8月号	1,000	
9月号	1,000	
10月号	1,000	
11月号	1,100	「ふれあい特集号」95部含む
12月号	1,000	
1月号	1,000	
2月号	1,100	
3月号	1,000	「ふれあい特集号」25部含む
合 計	12,600部	(前年度16,900部)

## 2. 令和3年版「日々の力」の制作・販売

## (1)制作

題 名 「今日を愉しむ」

作 者 〈絵と文字〉神門 やすこ(墨絵画家)

内 容 明るく元気な職場づくり、心温まる家庭づくりのために心がけたいこと、 実行したいことを31日分の言葉にまとめ、絵を添えて制作した。

体 裁 日めくり式短冊形・33枚、カラー刷り

印刷部数 16,000部(宣伝用含む)

第1回納品-8月5日、第2回納品-9月4日

## (2) 販売

ダイレクト・メールや「向上」誌等で会員や「日々の力」愛好者への普及に努めるとともに、会社・団体の年末年始贈答品としての利用を呼びかけた。

区 分	件 数	部数
SYDオリジナル	8 4	2,330
無地	5 6	7 4 1
注文名入れ印刷	4 8	8,535
合 計	188件	11,606部
前年度合計	178件	14,103部

※ 9月9日~10日

修養団新潟県連合会の協力を得て新潟県下7社を販売促進活動で訪問【保坂】

## 3. 教育図書の普及、教材の販売

『蓮沼門三の言葉110』、『人生のことば365日』、『蓮沼門三物語』などの図書、研修教材の『人生ガイドー研心』などを普及・販売した。

## 4.「SYDかわらばん〈最新活動情報〉」の発行・送付

SYD事業や会員組織活動の最新情報を届けることを目的に、毎月20日頃(8月を除く)に各1,000~1,100部(2頁~8頁)を発行し(NO.139~149)、クラブ・連合会・評議員等へ送付するとともに、事業参加者等に手渡し配布した。また、その全記事をSYDホームページ「web かわらばん」で紹介した。

## 5. 広報活動

#### (1) ホームページの充実

SYD事業の予定や報告、参加者募集の呼びかけ、さらに、SYDの理解を深めてもらうための各種情報を発信した。

新たな試みとして、ホームページから見ることのできる動画配信をスタートし、第4回「『東京ベルズ』ハッピーヴォイスチャリティーコンサート」報告、および「SYDボランティア奨励賞」受賞者発表及び活動報告を掲載した。(いずれも Youtube 動画)

## 公益4・収益1

## Ⅷ. 施設運営事業

## 1. 伊勢青少年研修センター

〈別表-11〉

#### (1) 利用状況

#### ア. 主催講習会

回 数 4回(前年度18回) 利用者数 108名(前年度939名)

#### イ. 受託講習会

回 数 5回(前年度26回) 利用者数 276名(前年度1,551名)

#### ウ. 一般研修会

回 数 9回(前年度12回)

利用者数 301名(前年度590名)

※ア+イ+ウ=17回、652名(前年度56回、3,051名)

## 2. ばんだいふれあいぴあ

(1) 利用状況 **〈別表-12〉** 

利用回数 6回(前年度27回) 利用者数 30名(前年度592名) 延べ利用者数 66名(前年度1,781名)

#### (2) 施設整備等

※新型コロナウイルスの影響で中止

## 3. 修養団SYDビル

## (1) SYDホールおよび会議室の貸出状況

※新型コロナウイルスの影響により、ホール利用101回、SYD 会議室利用15回の キャンセルがあった。

#### ア. SYDホール

回 数 43回(前年度157回) 利用者数 2,330名(前年度24,210名)

#### イ. SYD会議室(16階)

回 数 21回(前年度57回) 利用者数 390名(前年度1,140名)

#### (2) 施設の整備等

SYDホール利用者に快適なオフィス環境の提供や利用促進を行うため、以下の整備等をおこなった。

- ・ホール、スクリーン化粧扉不具合対応工事(4月)
- ・ホール操作盤HDMIコンセント改修スピーカーケーブル修理(7月)

## 4. 関西会館

- ・テナント(1階、2階部分)の適正管理をおこなった。
- ・三信工業賃貸料の一部見直しをおこなった(5月)。

## その他

## IX. 関係機関・団体との協力活動

## 1.「社会教育関係者懇親の集い」及び「文部科学省と語る会」

※新型コロナウイルスの影響で中止

## X.表 彰

## 1. 第15回SYDボランティア奨励賞

#### (1)募集活動

募集パンフレット18,000部を作成し、≪出前講座≫開催校、キャンプ開催地県の小学校、全国の中・高・大学へ送付すると共に、関連団体、全国の県・市教育委員会等へ広報依頼をしたところ、全国36都道府県とアメリカから69件の応募があった。

#### (2) 選考委員会の開催

コロナ感染拡大を受け選考委員に書面選考をお願いし、内部選考委員会と提出された選 考結果を元に事務局が立ち合い、各賞の決定を行った。

開催日 12月14日(月) 11時~12時

会 場 SYD会議室

出席者 内部選考委員2名と事務局3名

(御手洗理事長、山﨑主幹、真下淳一、岩佐加寿子、山口千恵子)

文部科学大臣賞 1点

北九州市立大学 地域共生教育センター 子ども食堂応援プロジェクト (福岡県)

優 秀 賞 3点

【小・中学生の部】 刈谷市立雁が音中学校 (愛知県)

【高 校 生 の 部】青森県立名久井農業高等学校 5代目 TEAM PINE (青森県)

【大学・一般の部】ベイラー大学 ベイラー・イン・ジャパン (アメリカ)

特別賞2点

名寄市立名寄東中学校 ボランティア部 (北海道)

福島県立平工業高等学校 生徒会(福島県)

#### (3)贈呈式

2月13日(日)に予定していた贈呈式は、コロナ感染拡大を受けて中止とし、動画を 作成しSYDのHPで公開した。

公 開 日 令和3年2月11日(木·祝)

內 容 ①主催者挨拶: 御手洗理事長 ②祝辞: 文部科学省綜合教育政策局地域学 習推進課課長 横井理夫 ③選考経過報告: 山﨑主幹 ④受賞者挨拶・ 活動報告: 6 団体

## 2. 令和2年度功労者表彰

〈敬称略〉

【名誉団員】 岡部 宣子(埼玉県) 小澤 勝(埼玉県)

【蓮 沼 賞】 安藤 欣男(埼玉県) 栗原 文子(埼玉県) 松本 治夫(埼玉県)

菅野 浩和(東京都) 坂本 大生(神奈川県) 髙木 明子(岐阜県)

松永 祥男(岐阜県) 川原 宣子(香川県)

【表 彰】 個人: 7名

【感謝 状】 個人:17名 団体:10団体

## XI. 諸会議の開催等

1. 評議員選定委員会 ※新型コロナウイルスの影響により書面委員会とした

期 日 10月22日(木)

会 場 SYD会議室

出席者 7名(委員:2名、評議員:1名、事務局:1名、理事長、専務理事)

議 題 ア. 補充評議員の選定について

## 2. 理事会

(1) 第1回理事会 ※新型コロナウイルスの影響により書面理事会とした。

期 日 5月21日(木)

出席者 理事:13名、監事:2名 主幹:1名

議 題 ア. 令和元年度事業報告について

イ. 令和元年度収支決算について

ウ. 定時評議員決議・報告の省略について

エ. 相談役の選任について

(2) 臨時理事会 ※新型コロナウイルスの影響により書面理事会とした。

期 日 6月5日(金)

出席者 理事:13名、監事:2名、主幹:1名

議 題 理事長、専務理事、常務理事の選定について

(3) 第2回理事会 ※新型コロナウイルスの影響により書面理事会とした。

期 日 1月8日(金)

出席者 理事:14名、監事:2名、主幹:1名

議 題 ア. 令和3年度基本方針・事業計画大網について

イ. 令和3年度予算大網について

(4) **第3回理事会** ※リモート理事会とし、会場: 9名、リモート: 7名の出席で開催した。

期 日 3月29日(月)

出席者 理事:13名、監事:2名、主幹:1名

欠席者 理事: 1名

議 題 ア. 令和3年度事業計画について

イ. 令和3年度収支予算について

ウ. 定時評議員会の招集について

### ※事業経過報告書と収支月報の送付

9月20日付けで4~8月までの「事業経過報告書」と「収支月報」を理事・監事・ 評議員に送付した。

3. 第10回評議員会 ※新型コロナウイルスの影響により書面評議員会とした

期 日 6月5日(金)

出席評議員 14名

議 題 ア. 令和元年度事業報告並びに収支決算について

イ. 理事の選任について

4. 後援会役員会 ※新型コロナウイルスの影響により書面役員会とした

期 日 6月23日(火)

出席者 5名(常任幹事:4名、監事:1名)

役職員 5名

議 題 ア. 令和元年度後援会事業報告・収支決算及び監査報告について

イ. 令和2年度後援会事業計画(案)並びに収支予算(案)について

ウ. 令和元年度修養団主要事業報告及び令和2年度主催事業計画について

## 5. 弔事

### (1)物故団員・同志ご芳名

東京都 志垣 民郎 殿 5月 4日 元修養団専務理事

三 重 県 奥井 貫人 殿 7月17日 修養団評議員、修養団伊勢向上会会長

香川県吉田 スズ子 殿 9月 8日 元香川県連合会婦人部長、副会長

東京都 伊藤 俊夫 殿 11月 4日 元修養団常務理事、元東京家政大学教授

東京都田中浩史 殿 12月23日 修養団評議員、跡見女子大学教授

## (2)物故同志慰霊の集い

7月13日(月)、SYDビル会員ルームにおいて、物故された恩人・先輩・永生会員・同志の慰霊祭を山﨑主幹はじめ本部役職員により執り行った。

## 6. SYD将来計画プロジェクト「令和」

令和元年9月1日に職員4名で構成、スタート。10年後、20年後の社会を予測した上での今後のSYDの在り方(運動展開等)について12回会議をした。

### (1) 構成員

アドバイザー:真下淳一

メンバー: 志村和也(リーダー)、古城門奈津(事務局)、増田航介

#### (2) 開催日

令和2年:4/7、6/9、6/11、6/15、6/25、7/2、7/17、9/16、10/1、10/19 令和3年:3/9、3/29

## (3) その他

令和2年8月に各職員にプロジェクトの進捗状況を伝えると共に、アンケートの協力お願いをし、それらの意見を踏まえ具体的な事項も合わせて示す提言を行うための検討をしている。

## 7. 講師研修会 〈別表-13〉

本団の教育理念および教育事業活動に関する研究・協議を行うとともに、講師相互の研鑽ならびに資質向上を図ることをねらいとして研修会を実施した。なお12月以降は、新型コロナウィルスの影響から、オンライン(Zoom)で実施した。

#### (1) 宿泊研修会

期 日 6月~12月(各2泊3日~3泊4日)

開催数 5回(新型コロナウィルスの影響により1回中止)

#### (2)オンライン研修会

期 日 12月~令和3年3月(各2時間~3時間)

開催数 9回

## 8. 役職員の新型コロナ感染防止対策

出勤による感染リスクを減らすため、在宅勤務日及び休業日を設定すると共に、朝・夕(30分~1時間)の時短勤務を行った。

12月:月3日在宅勤務、12/28を休業とし12/25仕事納めとした。

1月:1/11に10都府県に緊急事態宣言が発出されたのを受け、週1日休業、1日在宅 勤務、3日出勤とした。

2月:1月と同様の出勤体制にし、2/11を休業日とした。

3月:週2日在宅勤務とした。

## 9. その他

6月24日 在団理事会

7月 7日 上期慰労手当支給(1.2か月分)

8月 5日 名誉団員楯・徽章を池田邦彦氏へ送付

\*当初、6/6開催予定の「全国修養団運動推進会議」の席上名誉団員称号贈呈式 の挙行を予定していたが、推進会議がコロナの影響で延期、さらに中止となった ため郵送にてお届けした。

10月15日 在団理事会

12月 3日 下期慰労手当支給

2月24日 在団理事会

令和2年度事業報告には「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」 第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が 存在しないので作成しない。

令和3年3月

公益財団法人 修 養 団

## 令和2年度 後援会活動報告

令和2年度の後援会活動は、コロナ禍のなか6月23日に書面役員会において決定された事業計画に基づき、募金目標額12,000,000円の達成をめざして7月中旬より活動を開始しましたが、例年のように各社にお願い書を持参することができず、電話及び郵送によるお願いをいたしました。コロナ禍による経済活動が落ち込む中においても、例年通り三菱グループ、三井グループ、住友グループ、日本製鉄、宇部興産、フジタ、キッコーマン、北越コーポレーション、東芝等々法人会員97社、個人会員135名の方々の深いご理解と温かいご支援により、10,420,000円の会費収入を得る事ができました。

なお、会費収入のうち経費を除いた金額 10,018,090 円を後援会の助成対象事業である「青少年の健全育成」「家庭教育の推進」「社会教育指導者の育成」の3事業支援のために修養団へ繰り入れさせていただきました。

令和2年度の修養団の諸事業は、新型コロナウィルスの影響により、残念ながら多くの事業は 中止となりましたが、そんな中において今できることを考え、新たな事業としてオンライン講演 会等を行い、大きな成果を上げることができました。

青少年健全育成事業の中心である「夏期子ども自然体験キャンプ」は全国11会場で開催予定でしたが、すべて中止となりました。「幸せの種まきキャンペーン・出前講座」は全国16会場で開催、家庭教育事業では新たな試みとして「家庭〈共育〉オンラインセミナー」を4回開催、全国から185名が参加し、家族におけるコミュニケーションの重要性などを確認し合いました。社会教育指導者養成事業としては、「青年ボランティア・アクション in 福島」、「青年ボランティア・アクション in フィリピン」「東日本大震災仮設住宅訪問青少年ふれあいボランティア」等ほとんどの事業は中止となりましたが、「青年ボランティア・オンラインゼミナール」を8回開催し、海外留学中のリーダーをはじめ全国289名が参加、ボランティアの大切さを学びました。ここに謹んで後援会役員をはじめ全国の法人会員、個人会員の皆様の貴いご支援、ご協力に対

## 1. 会員移動状況

し、心より感謝を申し上げます。

(1) 新入会員 〈法人会員 2団体、個人会員 5名〉

(東京都) 学玉川学園 (大阪府) ㈱エターナリーブレイズ

(埼玉県) 根岸 洋美 (東京都) 竹越 徹、立川 らく次 (神奈川県) 宝井 琴鶴 (千葉県) 鈴木 綾

(2) 退会会員 〈法人会員 1団体、個人会員 2名〉

(三重県) 株式まる天

(山口県) 小笠原文江 (山口県) 佐藤 雅美

(3) **逝去会員** 〈個人会員 3名〉

(新潟県) 宮崎 正 (千葉県) 小川幸三郎 (広島県) 本岡 克人

#### 2. 募金活動

(1) 募金目標·募金実績(単位・円)

 (募金目標)
 (募金実績)

 法人会費 10,000,000円
 法人会費 9,060,000円(97社)

 個人会費 2,000,000円
 個人会費 1,360,000円(135名)

合 計 12,000,000円 合 計 10,420,000円

#### (2) 募金方法

#### ア. 文書活動

6月23日の書面による後援会役員会で承諾された事業計画にもとづき、7月中旬より募金活動を開始。令和2年度会費納入のお願い書を法人、個人会員宛に発送した。

#### イ. 訪問活動

関東地区法人会員各社へはコロナ禍の中、例年のようにお願い書を持参することができず、書面ならびに電話にてご協力のお願いをした。

## 3. 広報活動

- (1)修養団機関誌『向上』6月号に令和元年度の後援会会員名簿を掲載、協力の御礼と感謝の意を表すると共に令和元年度のお願いをした。
- (2) 『向上』(令和2年度5月号より1年間)及び令和3年版「日々の力」を法人、個人各会員に贈呈した。

## 4. 会 議

(1)役員会(コロナ感染予防のため、書面役員会とした)

決議日 6月23日(火)

出 席 者 常任幹事 板垣和彦、北原 央、松崎 毅、守屋邦晴、栁井秀朗、山口洋二 監 事 新海一正

議 事 ア. 令和元年度後援会事業報告並びに収支報告及び監査報告について

- イ. 令和2年度後援会事業計画(案)及び収支予算(案)について
- ウ. 令和元年度修養団主要事業報告並びに令和2年度修養団主要事業計画 について

## 5. 収支報告 (4月1日~令和3年3月31日) (単位:円)

貸 方 (支出)	科目	借 方 (収入)	前年度(収入)
	会費収入(法人)	9,060,000 ( 97 社)	9,060,000 ( 97 社)
	" (個人)	1,360,000(135 名)	1,390,000(135 名)
10,018,090	修養団後援金		
5,575	旅費		
63,000	印 刷 費		
126,956	通信運搬費		
187,600	消耗品費		
0	会 議 費		
17,979	雑費		
10,420,000	合 計	10,420,000	10,450,000